

# 映画話術の見事な新作二本

淀川長治

△映画評論家▽

夫は会社から妻に突如電話。ベルの鳴るのが聞える。夫はわざと無言。受話器とった妻。相手もたしかめないで。“あたし、いま、ベッドの上に、一人で……ホホホ

ツ”。夫は電話をガチャヤンと切った。どうも妻には他に男がいる。とにかく彼女、毎日きまつて外出、夕方あわてて帰宅。あやしい。そこでついに私立探偵を尾行させた。

この映画、「第三の男」キャロル・リード監督の一九七二年作。私はアメリカでこれをみてこれは日本で受けたぞとニヤリ。題名は「フォロー・ミー」(ついでらっしゃい私に)しかしアメリカの三十何階かのニューヨークのその会社で私一人この出来上ったばかりの映画を試写してもらつて見たときの題名は「ペブリック・アイ」(世間の目)。これでは固すぎるのか題名変更。あちらで出来上つてから題名を変えることがあるらしい。



・現代の人間の孤独とあせり、恐怖感を描き出した「激突」のデニス・ウェーバー

レストランの女給仕がロンドンの上流家庭の息子に愛され結婚。ところが家風がいかめしく古くさくて。それで新妻毎日外出。探偵がつける。ところがそれがまるで女子高校生そつくり。公園、映画館、美術館、植物園。探偵すっかり感激。この探偵がまたズックの鞄を肩から吊り、そのなかからビスケット攢み出しボリボリの童心そのもの。つける者つけられる者、いつしか毎日のことであら、やア、で親友みたい。春の花、春の風、池のほとりのピーター・パンの銅像。ついに探偵すっかり彼女に惚れこんだものの、やっぱり彼女は夫を愛していることはちがいない。そこで夫に戻すまでの劇作家ピーター・シェフラー一幕喜劇の映画化。ところが監督が「第三の



・「フォロー・ミー」(ついてらっしゃい私に)のミア・ファローとトボル

25

男」のキャロル・リード。主演が「ジョンとメリ」のミア・ファローそして「屋根の上のバイオリン弾き」のトボル。このトボルの探偵ぶりが涙が出るくらい可愛く面白く、夫に扮するマイケル・ジュイストンは「ニコライとアレキサン德拉」のニコライ皇帝。これがヒゲをとるとイギリスの上流息子そのものになつちまうから俳優は面白い。音楽がジョン・バリーでキャメラが「素晴らしいヒコーキ野郎」のクリストファー・チャリス。名人がこれだけ揃うと、この単純コメディまるで名人話し家の語りの妙をあふらせる。

「激笑！」原名は「決闘」。これはこわい。カリフォルニアを北から南へ商用で走る一台。その静かな一本道。山のみどりが美しい。すると目前に一台。大型灰色トラ

ック。煙を吐いて感じが悪い。商用の男。なんとなくスリップと追いこした。すると大型トラック。またも追いついて追いこす。商人くさって、追いこす。するとまた追いこす。追っかけっこは止めようぜ。商人急スピードでスリップと追いこした。ところがぐんぐんトラックが追っかけってきた。追っかけて、うしろからゴツンと突く。さらにそのトラックが追いぬいて前をデグザグ運転。商人アタマにきた。この野郎！ ところが相手をいつそ追いやろうと、とある道わきのレストランに立ちよつたところ、あの灰色のトラック戻ってきた。レストランの向うに止まっている。馬鹿者。止め給え。向うに怒鳴つて、商人また走る。トラック、再び追つて追い抜く。スピードを出すとトラックもスピード増した。別の道を走り本道に。するとその本道真正面にトラック。追っかけっこと思ったそれが次第に恐怖に。恐怖は殺氣に。相手はなぜこうも追うのか。ついに道ばたを曲つて急停車。そこは西部の毒蛇屋の妙な商売している老女の家。そこで電話をかりて警察へ電話。するとその電話ボックスめがけトラック突進。とび出してころんだ商人。電話ボックス目茶苦茶にこわれ蛇屋の婆さんがなりたてる。その老女までもひき殺るそうとした。逃げる老女、蛇のガラス窓ぶつこわれ蛇が這い出し老女は泣き声。ここから商人の赤い車を追うトラック。必死逃亡の商人の車。商人はハンドル握りしめ、『神さま！』と思わず祈る。トラックはついに商人の車に体当たりの恐怖のクライマックス。監督はスタイル・ヴァン・スピルバーグ。主演はデニス・ウィーバー。ともにテレビの二人。映画もテレビ用映画。しかしここには現代の人間の孤独とあせりと、わけのわからぬ恐怖感。なぜ自分にかくもひつかつてくるのか、その相手の病的的質的感覚。これはしかも映画がトラックの男を一度も画面に見せなかつたことで恐怖が病的のこわさを盛り上げる。話し方の実に巧い映画。初めは鼻唄はじり、それがラストで必死の形相の、この殆んど他に車を見ないハイウェイのアメリカ山道のこわさ。

# 女体自画

△7△

H・ジユニア

え・浅野 俊一

## ナメナメ女

彼女の瞳は、お酒を飲みもしないのに、いつも酔った  
ように、遠くを見つめています。  
歩く姿も、千鳥足、なんとも危ながしくて、そつと後  
から支えたくなるほど小柄で骨細、たためばトランクに  
入れられそうです。  
上唇は、窓ガラスに、ピチャツと押しあてられた吸盤  
のよう。  
皮膚は、生白く、少し鳥肌、赤い毛穴が浮いて見えま  
す。

顔は一見、利口ですが、体全体は、やがて、ナメ  
ナメする性器そのものに見えて来ます。こんな体相の女  
を皆さまはご存知でしょうか？

今だから告白しますが、実は、サイゴンで、私と結婚  
したマリアンヌは、そんな体相の女でした。

彼女は、生粹のパリジャンヌで、東洋美術の研究にサ  
イゴンに来ているソルボンヌの大学院生だったのです。

彼女の全身には、淡くソバカスが散っていました。彼  
女は何かに憧れたよう遠くを見つめて歌い続けます。

〈メイド求む！ 但し、フランス語を  
話せるインテリ女性。当方、H・ジ  
ュニア、作家、独身、サイゴンホテ  
ル194号室〉

ある出版社の仕事で、数ヵ月サイゴンに滞在すること  
になつた私は、新聞広告で、彼女を会話の教師兼メイド  
として雇いましたが、ついついベッドでの会話の特訓に  
熱が入りすぎ、フランス人神父の手で、結婚式を挙げさ  
せられてしまったのです。

日本人の友人が、私を毎朝誘いに来るのですが、彼女  
は、私の首に手を廻し、情熱的に私の口にしゃぶりつき  
なかなか離れません。友人たちは

「日本の細君にいいつけるぞ！」  
と、私をおどしますが、彼女には幸い日本語が通じませ  
ん。

夕食は、夜のために、濃厚なフランス料理を、時間を  
かけてこつこつと食べさせられるのです。

食事がすむと、私は、彼女と並んで全裸でベッドの端  
に腰かけ、彼女が次から次へとギターで弾き語る自作の  
フォークに聞き入るのでした。

小舟が濁つたメコン河を  
流されて行く

舟頭は一生けんめい舵をとるが  
河の流れには勝てはしない

それはベトナムの悲しい運命なのか？

小雨がまた降ってきた

乙女はうつろに水面を眺め  
その目には涙が一杯だ



そして、いつとはなしに、二人は、前戯へと移行してゆくのでした。ここで、全身くまなく吸い合うフレンチキスの真髓が始まるのです。途中、小さいタオルで汗と愛液を幾度かふきとらねばなりません。

前戯、本番、後戯、そして、また前戯……と、体力の限りを尽すのでした。

昼寝のときにさえ、彼女は、私を求めてくるのです。

万事休す！

不注意にも、彼女はとうとう妊娠してしまいました。

しかし神は、私を見捨てませんでした。

「今月末、タイ国へ移動せよ！」

東京の出版社から電報が届きました。私は自動車のト

ランクにそっと身の廻りの荷物を積み込みました。

「早く帰ってきてね！ 私、あなたの子供を産みたいの」  
国境まで見送りに来た彼女は、涙を流してそういいました。

した。

「すぐ帰ってくるよ！」

手を振り続けるマリアンヌの小さな体が、バックミラーにいつまでも映っています。

「アデュー マリアンヌ！」

彼女は、ひょっとして双子でも産むのでは？

しかし、車は、とうとう国境を越えました。

もう、ここはタイ国です。

明日は、どうなと、知らんタイ！



## シックなサロン“ジョリカ”

ティ & グリルタイム  
（AM 11：00～PM 6：00）には、えびグラタン  
(600円)、サーモンイタリア風(700円)、チキン  
白ブドー酒オーストリア風(800円)、コーヒー・紅  
茶(200円)他、個性的な料理、メニューがいつば

★愛のサロン・本高砂屋  
『ジョリカ』誕生  
国道2号線浜側、御影公  
会堂前のメゾン新御影1F  
にオープンしたゲット・シック  
クなサロン『ジョリカ』。  
オーストリア風の室内、ス  
テンダードグラスの小窓から注  
がれる鈍い光に身をゆだね  
ながら、くつろいだ一時を  
過ごすのにも最適。

小屋風の落ちついたムードのインテリア。  
ママの千葉和子さんは、  
ムーンライトで八年、千を  
開いて三年というキャリアが  
が生きている気さくな店。  
女の子五人も可愛い人が多  
く、神戸らしい。

★山小屋風のムードで  
「千」新店お目見得  
昨年暮れ、スタンドバー  
“千”が、生田新道サンラ  
イズビル一階（電三九一  
一〇七七）にオープンして  
人気をあつめている。  
プラウンドで統一されたカ  
ウンタ、ソファ、テーブル

い。また、6時と12時はワ  
イン&スナックタイムで、  
高級洋酒各種、ヨーロッパ  
の名酒が揃っており、オーダー  
ドブルのほか9時以降は雑  
炊もある。  
ちよっぴり贅沢な愛のサ  
ロン『ジヨリカ』があなた  
も一度いらしてみては。  
TEL・841・3591



## 新装オープンした“千”

神戸元町三丁目本通り浜側本通  
砂屋2F  
TEL・331・7368



0円、山の幸  
杉60円、季節御飯50円  
おにぎり、茶めし35円  
お茶漬300円など  
円、お茶漬300円など  
京の香りのせるせんべい  
なお料理。店内は、テーブル、  
お座敷、カウンター  
があり、ところどころに  
未生流の生け花が置かれ  
ている。日本情緒にふけ  
りながら京の味を楽し  
たい方には、ぜひおすす  
めしたいお店なのです。

●神戸うまいもん  
ヒデリンキング



# Nouvelle

酒肆

ヌーベル

神戸市生田区北長狭通2丁目14

Phone 331-9005

天若シ酒ヲ愛セ不ンバ  
酒星天ニ在ラ不<sup>ナ</sup>。  
地若シ酒ヲ愛セ不<sup>ナ</sup>ンバ  
地ニ應ニ酒泉無カルベシ。  
天地既ニ酒ヲ愛す  
天地既ニ酒ヲ愛す

（李太白詩鈔  
月夜獨酌「吾」）

カクテルラウンジ  
**SAVOY**  
サヴォイ

ホームパーティでのカクテルの  
作り方を電話でお教え致します。  
お気軽にどうぞ  
TEL 331-2615  
高架山側 テキの店北

潜り戸を通って  
“花”のおふくろさんの味を



和風季節料理



さんプラザ地階 TEL 331-0087

営業時間 AM11:00~PM9:00



**Syphon Coffee Pizza**  
and drinks with wood cup  
on the pat. No. 47-046665  
steering weel table.

オールドキー	¥3,800
ピザバイ	¥350
ビール(小)	¥200
サイフォンコーヒー	¥190

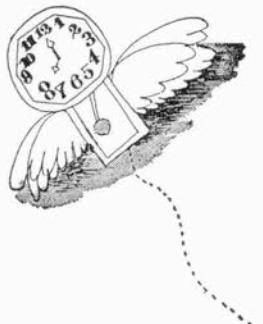
毎週水曜日生バンド演奏<ザ・ハブリーズ>

**HAPURI**

神戸市灘区日尾町2丁目5

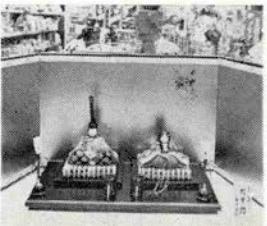
(くみあいマーケット山側)

TEL (078)851-8787



★いち早く出揃った  
カメヤの雑人形

おもちゃやのカメヤには段  
雑祭を来月にひかえて、



カメヤの真多呂ひな人形

雑が豊富に揃っています  
ます。カメヤ特製の市松人  
形、従来通りの伝統的な雑  
人形の他に、この二、三年  
大いに人気のあるきめ込み  
の真多呂人形はカメヤの推  
せん商品。きめ込み人形な  
ので品いたみも少なく手入  
れも簡単とあって、若いバ  
バ、ママにはぜひおすすめ  
したいとのことです。お値段は、  
三〇、〇〇〇円前後のもの  
が手ごろで、四・五、〇〇〇  
〇円くらいからの立雑も素  
敵！

豪華な段雑、かわいいケ  
ース入りの立雑、段雑をあ  
なたの愛するお嬢さんの方

トホテル三F展示会場で、  
中川衣裳店がニューポー  
トホテル三F展示会場で、

★新春 新作御婚礼衣裳  
展示会開かれます

春の結婚ラッシュを目前  
にして、一月十五日成人の

日で大丸前のつるや衣裳店  
が婚礼衣裳展示会を開催し、

ました。オリエンタルホテ  
ル二F大ホールと梅の間に  
展示された作品一五〇点に  
もかかわらずこら

れたお客様の目は注がれ  
ました。洋装どちらにしようかと迷  
う嫁ぐ日近いお嬢さん連れ  
がほとんどで、次々と予約

商品が決まっていきました  
打掛・白無垢小物一式付  
三〇、〇〇〇円～三〇、〇〇〇  
〇円留袖・袋帯小物一式  
付八、〇〇〇円から、ウェ  
ディングドレスは二〇、〇〇〇  
円からと華いだ会場、

つるや衣裳店の話では、打  
掛けは一〇〇、〇〇〇円クラ  
スのものが一番よく出ると  
かで、式前日から三日間借  
りるそです。なお、二月十一  
日にもオリエンタルホテ  
ルで展示会があるそ

うで、春向

のスリッパも入荷され  
て、見ているだけでも樂  
くなっています。



永田良介商店のスタンスチエ

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー</

## ボケットジャーナル



### ★'73 神戸まつり五月十九・二十日

第三回神戸まつりの開催日が決定した。五月十九日(土)二十日(日)の両日。

さわやかな緑の風の吹く頃のカーニバル。誰もが参加し楽しめるおまつりは、早くも年中行事の一つとして市民の間に広く浸透しているこの神戸まつり、今年もエキサイティングな一日になることだろう。



フラワーロードを湧かしたカーニバル

### ★小山保氏、写真展「アフガニスタン」を開催

五月六日から十日までの五日間、さんちかギャラリーで小山保氏が写真展を催

た。この作品展はこれまで、



小山保「アフガニスタン」より

### ★ハブニングなVTR公開

若者達の活動が目立つ、最近だが、十一月二十三日、

した。

神戸山岳会に所属する友

人の岡春海、谷口忠男、立

岡栄さん達とシルクロード冒険旅行に出発したのは四

十六年四月。“遊び”で計

月にわたるこの旅の成果は

大きく、今回の発表もまとまりをつけるために焦点を

アフガニスタンに絞ったと

のこと。作品は総数四十八

点。

小山氏はアフガニスタン

を、イラン、パキスタンに

はさまれていたがら東西の

文化の恩恵をまったくと

り、それでもいい程受けていない

次さんの三人が、キャンバ

スと画面を同一視して、画

面に描いた観念芸術。

作品は一人二本位で、一

本の上演時間が三十分程度

二時から五時まで、バリエ

ーションとか時間超越、対

比などをテーマにした作品

が公開され、新鮮な着眼が

見る者に非常な興味を誘つ

ていた。バリエーションと

いう作品などは、キャンバ

スを描くが如く、事物が半

分になつていき、ハッと驚

く面白さ。今後の活躍が期

待される。

誕生日  
ありがとう  
運動



### 誕生日のなかも

一九七三年、福祉の年。一ヵ月たちました。暗いニュースはあとをたまぜん。施設があれば、との声もそのまま度きかれます。政治家は、お金を出し、施設を増やす

といっています。ところが現在、施設によつては在籍者が定員に満たないところが少なくない、重症児

施設など、希望者は列をつくりしかもベッドは空いてゐるのに入れない、といつてこりがが多いのです。

職員が足りないのです。

重い障害をもつた子供たちの命を守り、その育ちの手助けをする

施設など、希望者は列をつくりしかもベッドは空いてゐるのに入れない、といつてこりが多いのです。

専門家として、福祉を荷い推進してゆくのは、あなたであります。

決して行政だけで行なつてゆけるものではない、と思います。

あなたには何ができるか、考えてみませんか。

重い障害をもつた子供たちの命を守り、その育ちの手助けをする

施設など、希望者は列をつくりしかもベッドは空いてゐるのに入れない、といつてこりが多いのです。

専門家として、福祉を荷い推進してゆくのは、あなたであります。

決して行政だけで行なつてゆけるものではない、と思います。

あなたには何ができるか、考えてみませんか。

誕生日のなかも

誕生日のお祝いの中から意識的

に百円箱約し献金する。各家庭

で、この問題について話し合機

会をもつ。このことを手がかりと

して、わたしたちすべてが精神薄

弱児(者)をあなたから包む夢

気を広げると同時に、ひとりひと

のかけがえのない命について

思いをめぐらせ、年一度の誕生

日を有意義にしよう、という運動

です。

誕生日ありがとうございました運動部本部  
神戸市芦合区御幸通八の九一  
戸国際会館一階(郵便局の前)  
(二五)八一六一内線316

も反響が寄せられなかなかの成果を収めていた。また、昨年は「遊牧民の村」の褐色の印象、「熱砂」などと題してトルコ、パキスタン、アフガニスタン等の誌上発表もされた。上作品展にあたり、旅行中の印象をまとめた旅行記「シルクロード」も発行されたが、五〇〇部限定で市販されていないのが残念。

★ラジオ関西社長の青木啓さん「私の人間学」出版 ラジオ関西社長であり、青木啓さん



青木 啓 さん



ドレメスイミングスクール

人間学研究会の代表理事である青木啓さん（五九）がこのほど「私の人間学」という著書を川島書店から出版。

内容は前半が「ひとりの人間の物語」、後半が「雑文、私の人間学」と二部に分かれており、前半では著者の幼年時代から現在に至るまでの五七年間の記録が自伝的回想風に描かれており後半では著者の生活を通して眺めた人生観、人間観が随想ふうにまとめられている。

著者は七年前「ラジオに

戸ドレスメークー女学院が、「ドレメスイミングスクール」が二月から開校。水泳でバランスのとれた美しいボディづくりに役立てるため、カッコよく泳ぐ技術を身につけたい人におすすめする。コチは、高浜武さん（元松陰女子学園水泳コーチ、現福富学園本部

で、同じ校舎を開校した神戸ドレスメークー女学院（神戸市生田区加納町二丁目）の室内温水プールで、同様校舎を開校した神戸ドレスメークー女学院（神戸の邦舞家として活躍する花柳楽瞳師（生

田区下山手通六丁目五五）が、このほど師籍五五年を機会に三月二十九日・三十一日の両日神戸国際会館で「扇とともに五年」のタイトルでゲストに長谷川一夫、林与一、朝丘雪路、花柳芳次郎、猿若清三郎を招いての記念公演を行なう。樂瞳師は「武悪」を、子息の林啓二さんは、猿若清三郎と「二人三番叟」を踊る。師籍五五年のキャリアをいかに展開させるか楽し

みである。

★待られる初入港の外国観光船 今年の外国客船入港予定

による人間学講座」を始める

本テーマとして「人間学研

究会」をつくり、一貫して人間とは何かを自分自身に問いつづけ考えづけてきた

この本の底に流れるもの

は著者のあくなき人間への

興味であり、一人の平凡な

人間が通してみた人間観が

随所にみられておもしろい

二二三ページ。五〇〇円。

★カッコよく泳ごう！ドレ

メスイミングスクールで

新しく竣工した神戸YM

CA（神戸市生田区加納町二丁目）の室内温水プール

で、同様校舎を開校した神

戸ドレスメークー女学院

（神戸の邦舞家として活躍する花柳楽瞳師（生

田区下山手通六丁目五五）が、このほど師籍五五年を機会に三月二十九日・三十一日の両日神戸国際会館で「扇とともに五年」のタイトルでゲストに長谷川一夫、林与一、朝丘雪路、花柳芳次郎、猿若清三郎を招いての記念公演を行なう。樂瞳師は「武悪」を、子息の林啓二さんは、猿若清三郎と「二人三番叟」を踊る。師籍五五年のキャリアをいかに展開させるか楽し

みである。

★待られる初入港の外国観

光船 今年の外国客船入港予定

と同時に「人間の回復」を

本テーマとして「人間学研

究会」をつくり、一貫して人

間とは何かを自分自身に問

いつづけ考えづけてきた

この本の底に流れるもの

は著者のあくなき人間への

興味であり、一人の平凡な

人間が通してみた人間観が

随所にみられておもしろい

二二三ページ。五〇〇円。

★カッコよく泳ごう！ドレ

メスイミングスクールで

新しく竣工した神戸YM

CA（神戸市生田区加納町二丁目）の室内温水プール

で、同様校舎を開校した神

戸ドレスメークー女学院

（神戸の邦舞家として活躍する花柳楽瞳師（生

田区下山手通六丁目五五）が、このほど師籍五五年を機会に三月二十九日・三十一日の両日神戸国際会館で「扇とともに五年」のタイトルでゲストに長谷川一夫、林与一、朝丘雪路、花柳芳次郎、猿若清三郎を招いての記念公演を行なう。樂瞳師は「武悪」を、子息の林啓二さんは、猿若清三郎と「二人三番叟」を踊る。師籍五五年のキャリアをいかに展開させるか楽し

みである。

★待られる初入港の外国観

光船 今年の外国客船入港予定

と同時に「人間の回復」を

本テーマとして「人間学研

究会」をつくり、一貫して人

間とは何かを自分自身に問

いつづけ考えづけてきた

この本の底に流れるもの

は著者のあくなき人間への

興味であり、一人の平凡な

人間が通してみた人間観が

随所にみられておもしろい

二二三ページ。五〇〇円。

★カッコよく泳ごう！ドレ

メスイミングスクールで

新しく竣工した神戸YM

CA（神戸市生田区加納町二丁目）の室内温水プール

で、同様校舎を開校した神

戸ドレスメークー女学院

（神戸の邦舞家として活躍する花柳楽瞳師（生

田区下山手通六丁目五五）が、このほど師籍五五年を機会に三月二十九日・三十一日の両日神戸国際会館で「扇とともに五年」のタイトルでゲストに長谷川一夫、林与一、朝丘雪路、花柳芳次郎、猿若清三郎を招いての記念公演を行なう。樂瞳師は「武悪」を、子息の林啓二さんは、猿若清三郎と「二人三番叟」を踊る。師籍五五年のキャリアをいかに展開させるか楽し

みである。

★待られる初入港の外国観

光船 今年の外国客船入港予定

と同時に「人間の回復」を

本テーマとして「人間学研

究会」をつくり、一貫して人

間とは何かを自分自身に問

いつづけ考えづけてきた

この本の底に流れるもの

は著者のあくなき人間への

興味であり、一人の平凡な

人間が通してみた人間観が

随所にみられておもしろい

二二三ページ。五〇〇円。

★カッコよく泳ごう！ドレ

メスイミングスクールで

新しく竣工した神戸YM

CA（神戸市生田区加納町二丁目）の室内温水プール

で、同様校舎を開校した神

戸ドレスメークー女学院

（神戸の邦舞家として活躍する花柳楽瞳師（生

田区下山手通六丁目五五）が、このほど師籍五五年を機会に三月二十九日・三十一日の両日神戸国際会館で「扇とともに五年」のタイトルでゲストに長谷川一夫、林与一、朝丘雪路、花柳芳次郎、猿若清三郎を招いての記念公演を行なう。樂瞳師は「武悪」を、子息の林啓二さんは、猿若清三郎と「二人三番叟」を踊る。師籍五五年のキャリアをいかに展開させるか楽し

みである。

★待られる初入港の外国観

光船 今年の外国客船入港予定

と同時に「人間の回復」を

本テーマとして「人間学研

究会」をつくり、一貫して人

間とは何かを自分自身に問

いつづけ考えづけてきた

この本の底に流れるもの

は著者のあくなき人間への

興味であり、一人の平凡な

人間が通してみた人間観が

随所にみられておもしろい

二二三ページ。五〇〇円。

★カッコよく泳ごう！ドレ

メスイミングスクールで

新しく竣工した神戸YM

CA（神戸市生田区加納町二丁目）の室内温水プール

で、同様校舎を開校した神

戸ドレスメークー女学院

（神戸の邦舞家として活躍する花柳楽瞳師（生

田区下山手通六丁目五五）が、このほど師籍五五年を機会に三月二十九日・三十一日の両日神戸国際会館で「扇とともに五年」のタイトルでゲストに長谷川一夫、林与一、朝丘雪路、花柳芳次郎、猿若清三郎を招いての記念公演を行なう。樂瞳師は「武悪」を、子息の林啓二さんは、猿若清三郎と「二人三番叟」を踊る。師籍五五年のキャリアをいかに展開させるか楽し

みである。

★待られる初入港の外国観

光船 今年の外国客船入港予定

と同時に「人間の回復」を

本テーマとして「人間学研

究会」をつくり、一貫して人

間とは何かを自分自身に問

いつづけ考えづけてきた

この本の底に流れるもの

は著者のあくなき人間への

興味であり、一人の平凡な

人間が通してみた人間観が

随所にみられておもしろい

二二三ページ。五〇〇円。

★カッコよく泳ごう！ドレ

メスイミングスクールで

新しく竣工した神戸YM

CA（神戸市生田区加納町二丁目）の室内温水プール

で、同様校舎を開校した神

戸ドレスメークー女学院

（神戸の邦舞家として活躍する花柳楽瞳師（生

田区下山手通六丁目五五）が、このほど師籍五五年を機会に三月二十九日・三十一日の両日神戸国際会館で「扇とともに五年」のタイトルでゲストに長谷川一夫、林与一、朝丘雪路、花柳芳次郎、猿若清三郎を招いての記念公演を行なう。樂瞳師は「武悪」を、子息の林啓二さんは、猿若清三郎と「二人三番叟」を踊る。師籍五五年のキャリアをいかに展開させるか楽し

みである。

★待られる初入港の外国観

光船 今年の外国客船入港予定

と同時に「人間の回復」を

本テーマとして「人間学研

究会」をつくり、一貫して人

間とは何かを自分自身に問

いつづけ考えづけてきた

この本の底に流れるもの

は著者のあくなき人間への

興味であり、一人の平凡な

人間が通してみた人間観が

随所にみられておもしろい

二二三ページ。五〇〇円。

★カッコよく泳ごう！ドレ

メスイミングスクールで

新しく竣工した神戸YM

CA（神戸市生田区加納町二丁目）の室内温水プール

で、同様校舎を開校した神

戸ドレスメークー女学院

（神戸の邦舞家として活躍する花柳楽瞳師（生

田区下山手通六丁目五五）が、このほど師籍五五年を機会に三月二十九日・三十一日の両日神戸国際会館で「扇とともに五年」のタイトルでゲストに長谷川一夫、林与一、朝丘雪路、花柳芳次郎、猿若清三郎を招いての記念公演を行なう。樂瞳師は「武悪」を、子息の林啓二さんは、猿若清三郎と「二人三番叟」を踊る。師籍五五年のキャリアをいかに展開させるか楽し

みである。

★待られる初入港の外国観

光船 今年の外国客船入港予定

と同時に「人間の回復」を

本テーマとして「人間学研

究会」をつくり、一貫して人

間とは何かを自分自身に問

いつづけ考えづけてきた

この本の底に流れるもの

は著者のあくなき人間への

興味であり、一人の平凡な

人間が通してみた人間観が

随所にみられておもしろい

二二三ページ。五〇〇円。

★カッコよく泳ごう！ドレ

メスイミングスクールで

新しく竣工した神戸YM

CA（神戸市生田区加納町二丁目）の室内温水プール

で、同様校舎を開校した神

戸ドレスメークー女学院

（神戸の邦舞家として活躍する花柳楽瞳師（生

田区下山手通六丁目五五）が、このほど師籍五五年を機会に三月二十九日・三十一日の両日神戸国際会館で「扇とともに五年」のタイトルでゲストに長谷川一夫、林与一、朝丘雪路、花柳芳次郎、猿若清三郎を招いての記念公演を行なう。樂瞳師は「武悪」を、子息の林啓二さんは、猿若清三郎と「二人三番叟」を踊る。師籍五五年のキャリアをいかに展開させるか楽し

みである。

★待られる初入港の外国観

光船 今年の外国客船入港予定

と同時に「人間の回復」を

本テーマとして「人間学研

究会」をつくり、一貫して人

間とは何かを自分自身に問

いつづけ考えづけてきた

この本の底に流れるもの

は著者のあくなき人間への

興味であり、一人の平凡な

人間が通してみた人間観が

随所にみられておもしろい

二二三ページ。五〇〇円。

★カッコよく泳ごう！ドレ

メスイミングスクールで

新しく竣工した神戸YM

CA（神戸市生田区加納町二丁目）の室内温水プール

で、同様校舎を開校した神

戸ドレスメークー女学院

（神戸の邦舞家として活躍する花柳楽瞳師（生

田区下山手通六丁目五五）が、このほど師籍五五年を機会に三月二十九日・三十一日の両日神戸国際会館で「扇とともに五年」のタイトルでゲストに長谷川一夫、林与一、朝丘雪路、花柳芳次郎、猿若清三郎を招いての記念公演を行なう。樂瞳師は「武悪」を、子息の林啓二さんは、猿若清三郎と「二人三番叟」を踊る。師籍五五年のキャリアをいかに展開させるか楽し

みである。

★待られる初入港の外国観

光船 今年の外国客船入港予定

と同時に「人間の回復」を

本テーマとして「人間学研

究会」をつくり、一貫して人

間とは何かを自分自身に問

いつづけ考えづけてきた

この本の底に流れるもの

は著者のあくなき人間への

興味であり、一人の平凡な

人間が通してみた人間観が

随所にみられておもしろい

二二三ページ。五〇〇円。

★カッコよく泳ごう！ドレ

メスイミングスクールで

新しく竣工した神戸YM

CA（神戸市生田区加納町二丁目）の室内温水プール

で、同様校舎を開校した神

戸ドレスメークー女学院

（神戸の邦舞家として活躍する花柳楽瞳師（生

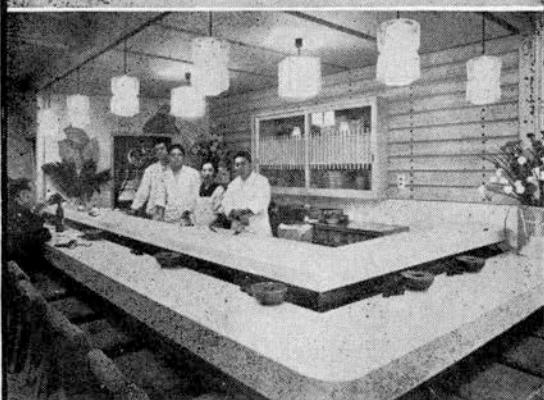
田区下山手通六丁目五五）が、このほど師籍五五年を機会に三月二十九日・三十一日の両日神戸国際会館で「扇とともに五年」のタイトルでゲストに長谷川一夫、林与一、朝丘雪路、花柳芳次郎、猿若清三郎を招いての記念公演を行なう。樂瞳師は「武悪」を、子息の林啓二さんは、猿若清三郎と「二人三番叟」を踊る。師籍五五年のキャリアをいかに展開させるか楽し

みである。

★待られる初入港の外国観



ゆったりと落ち着いたスペースで  
新しい“味”をご賞味ください。



# 鮓の又 宅

神戸三宮生田ノ社ノ西  
電話・三の宮 (331) 0935

元祖



おいしさが  
口いっぱいに  
ひろがる……  
本場の味



- 三宮センター街柳筋店  
TEL 321-3446・331-0572
- 新開地店  
TEL 576-1191
- 平野店（平野市場内）  
TEL 361-0821
- 三宮センター街サンプラザビルB<sub>1</sub>  
TEL 391-3793

オリジナル L サイズ

草履新発売

創業明治二十五年

# 履物の山下

古い老舗に新しいセンス

確実正札 完全冷暖房  
静かに品選びの出来る店

神戸三宮センター街 TEL(391)0256



ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを！

## 三恵洋服店

元町4丁目 TEL(341)7290

## SPRING KOBE SHOPPING

### 太田鼈甲店



べっ甲美術品とアクセサリーの専門店

### 太田鼈甲店

元町1丁目 TEL(331)6195



Mr. Kent  
came to Kobe  
流行に左右されない  
本来のオシャレ  
それがKentです  
シックな  
スコッチ風の店舗  
それがFunakiyaです

Kent shop  
**ケント**

元町3 TEL(321)0356

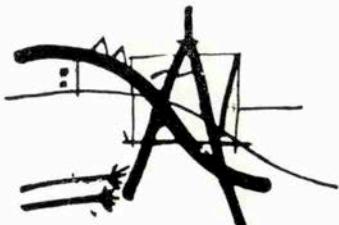
高級紳士服専門店

## 神戸テーラー



さんちかメンズタウン TEL (391)0388  
生田区北長狭通2(阪急西口) TEL (331)2817-3173

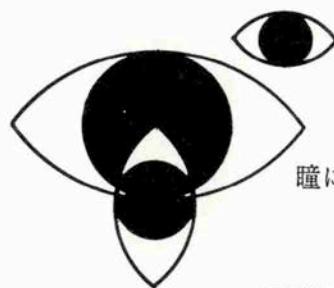
## 額縁絵画・洋画材料 室内工芸品



## 末積製額

三宮・大丸北  
トア・ロード  
331-1309・6234

## SPRING KOBE SHOPPING



瞳に美しさを保つ

スポーツに

美容に

現代の科学が生んだ

コンタクトレンズ

日本コンタクトレンズ協会会員

## 国際コンタクトレンズ研究所

神戸市葺合区御幸通八丁目九ノ一(三宮駅前)  
神戸国際会館内 TEL (251)8161・(231)2570

でんわ・

321 321 331  
110 110  
六三七一  
六三四  
五

コード  
ムサシ  
三宮

やつぱりうまい  
むさしのどんかつい  
よかわ

## 異人館物語

〈7〉

## ジエームス山哀歌

小山牧子



——黒松、櫻、楊梅、根箇、柃……。竜胆、萩、柚香菊  
 ……。鳶、みぞごい。小綏鶴、雉、雉鳩、鶴……。

年ごとに、人間と親しい草や木が數を増し、その緑を喜こんで鳥たちも集まつてくる。寒冷の地カナダを故郷にもつジエームスは、塩屋の海近い高台にめぐる温雅な四季を、夢心地で過ごしたことであろう。そして、彼が拓いた王国は、日々、高級住宅地としての体裁をととのえてゆく。すべてよし。つきはすべて成功者ジエームス

あらすじ 年のころ五十歳を少しすぎたと思われる初老の女が塩屋の高台をゆっくり降りていく。彼女、中井ふさは二十歳そこそこの郷里の潮岬村を出、英國系カナダ人E・W・ジエームスの雇人となり、五年前ジエームスが逝くまで彼の寵愛を受ける。彼にちなんて名づけられたジエームス山の中腹から塩屋の海を眺めながら、彼女はジエームスとの過ぎし日の出来事に思いをはせていく。

明治時代といえば多くの異国人が神戸に移り住み、西歐文明を背にして活躍した頃だが、E・W・ジエームスも數少ない相場師の一人で、兵器を売り込みでもうけた金で塩屋の不動産に目をつけはじめた。そして塩屋のジエームス山はしだいに大規模で自然と調和した外国人居住区にできあがつていった。そしてジエームスの雇用人の中に、ジエームスからひときわかわいがられた中井ふさの姿があった。

のがわにあつた。

が、ここに一つ大きな誤算があることに、ジエームスはいつの頃に気付いただろ。時代の先を読み、まるで詰将棋の名人よろしく、時代の先手、先手をとつてしまふけたジエームスであったが、日本という國の将来について、大きく読みあやまつたのである。日清、日露の戦争のころはまだよかつた。西歐の親日家たちは、小羊日本が、巨象にひとしい支那、ロシアを打ちまかした

ことに、やんやの喝采を拍した。勿論、ジエームス一家もそうだったろう。

しかし、勢いづいた日本が、西欧諸国の植民地と化し、衰退している支那を手中におさめようと、本格的な侵略をはじめた昭和六年の満州事変、十二年の支那事変勃発を前にしては相変わらず対岸の火事を見るように喝采ばかりもしていられなかつた。

ジエームスは、日本での自分の財産を着々とふやしながら、一方で当時の国際状勢を見すえていたに違いない。日本の支那進出は、当然、支那に利権を張る英米勢力と衝突する。が、その予測をたてながら、ジエームス自身を支配していたのは、楽観的予測の方であった。早晩、日本と英米の仲は陥落になるだろう。だが、一体、どこの国が、かの大英帝国に牙をむけ得るというのか。日本とて同じこと。英米の武力にほんの少しおどかされてみろ、日本は、たちまち尻尾を巻いて支那から手を引くに違ひないので。

ジエームスの目に、日本はしょせん大それたことなどできない温和な羊に見えた。で、彼は、なおもせつせとその羊に餌を与えて肥え太らせるように自分の財産を日本の国土に注ぎ込んでいたのだ。

ところが、昭和四年にこの地を拓きはじめてから十年、土建業者のさまざまの交渉、みずからブルドーザーの先に立つて山をけずり、谷をうずめるほどの気がまえで暮らした十年、そしてできあがつたジエームス王国を大満悦でパトロールしている間に、日本は軍国主義国家になり、支那のふところ深くで数々の紛争を引起しているではないか。

温和な羊は、ジエームスの財産をたらふく喰いつくして、彼自身に襲いかかってきたのだ。ついに、昭和十六年十二月八日、日本は真珠湾奇襲作戦によって、対英米戦争の火ぶたを切つた。

何たる誤算!!

前の章で、筆者は、ジエームスをして日本に住んだだけきく時代を、いや日本を読み違える時がきた。そして、この読み違えは決定的なものである。小さな歩の勇猛果敢な動きを読み違え駒を投げた負け棋士。運命は大きく狂いだした。

一夜あければ、ジエームスは敵国人である。彼が手塙にかけて豊饒ならしめたジエームス王国は、日本政府に没収され、彼は妻と共に国外追放の身となつた。裸何ひとつ国外に持出しをゆるされたものはない。裸同然で追い出され、しかもすでに老いの年齢にさしかかつたジエームスのあせりはいかばかりだつたろう。

去りがて、黒松の緑が衰えをみせぬ冬の山を、その緑の繁みから赤や青の屋根をのぞかせて点在する異人館を歯ぎしりするおもいで凝視したジエームスは、押し殺したうめきのように低い強い声でつぶやいたのだった。

「おお！ 私の土地、私の家。一体、なん人がこの土地にあるすべてのものに、私ほど強く執着しえようか。この土地には、私の汗と血が注がれている。この土地に住む鳥と獸は、私の肉の分身であり、花々は、私の夢の飛沫だ。そして、この土地で永遠の眠りを眠るという、究極の願望を、私は決して捨てはしない」

裸一貫で追放されるジエームスであつたが、その目は決して敗残者のようになつるなものではなかつた。むしろ、呪詛と見まがう暗い炎で明日への希望を燃えたたせていた。

そして、燃える目は、なおも忠実な犬のように彼に身を寄せてくる中井ふさにむけられたのである。

「よろしいか、フサさん。私はユウの勤勉さに常々感謝していまして……」

ふさの黒い目は、一瞬、強い輝きを帯びて愛する雇主の言葉を受け止めた。

「あなた、それ信じてくれますね？」

ムスの存在のすべてがそこにある。

「オブコース、オブコース、サア（勿論、信じますとも  
旦那さま）……」

ひたむきに答えるふさに、

「では、私の一生のお願いを聞いて下さい、ダーリン……」

…

ふてぶてしい勝負師であつたジエームスの胸にも、このときばかりは悲愴感がみなぎっていた。で、その余裕のなさが、ジエームスに保守的イギリス人の節度を失わせ、異民族の召使いの女に、はじめてダーリンと、親しみ深い言葉で呼びかけさせたのである。

生まれてはじめて、愛する雇主にダーリンと呼ばれたふさの感激は大きかった。

「ダーリン、よく聞いて下さい。この山にあるすべては私の血であり内であることと同じです。だから、私がこの山を留守にしている間に、私の血と肉が粗野な日本の人に奪われること決して好みません。ユウ、私の痛い痛い気持わかりますか？」

「イエス、理解できます、旦那さま」

「ではフサさん……」

ジエームスは、まるで恋をささやく若い男のような熱っぽさで、中井ふさのふっくらと肉のついた手をとつたのである。

「頼れるのは、フサさん。ユウだけです」

「勿体ないことを、旦那さま……」

ジエームスを見返したふさの目から涙があふれ、ふさはけなげに、ジエームスが期待した通りの答えを返していた。

「御安心下さい、旦那さま。あなた様がお留守の間、この山にあるあなた様の財産は、日本人の自由にはさせません。守ります。命かけて守りますとも……」

「サンキュー、フサさん。サンキュー、ユー、ナイス・ガール、ユー、ラブリイ……」

昭和十六年十二月も暮れに近くジエームス邸の窓から

見える瀬戸の海は、寒々とした灰色に縮み、厚い冬雲に閉ざされた空の下、船の往来が途絶えた港には、戦艦が黒い、毒を持つ昆虫のように、びつたりと光を失った海面に張りついている。

暗い海の風景は、恐ろしい時代がやってくるその先ぶれのように、窓辺に立つふさの胸に倒れ込んできた。

南国の女に特有の血の熱い樂天気質を本性を持つふさであったが、ジエームスとの別離のあとにやつてきた残酷な日々は予想以上のものだった。

自分が拓いた土地、自分が建てた家々に心を残して、ジエームスがカナダに帰ったあと、ジエームス山の財産は、すべて日本政府に没収され、豪壮な邸宅は、日本の海軍将校の療養所になった。あちこちの港から数々の傷病兵が運び込まれ、見る間に、この美しい富豪の館は水兵たちの軍靴によって踏み荒されてゆく。

ジエームスとの別れに際して、  
「生命かけて、あなた様の財産を守ります」  
と、気強く言い切った中井ふさである。

この事態を黙視して、ジエームス山を立去るわけにもゆかないし、一億人の日本人と心を合わせて鬼畜米英と闘うわけにもいかない。その時から、ふさの日本人との闘いの日々がはじまつた。

軍靴と男の汗の臭いがむんむんとたちこめるジエームス邸の内と外を四、六時中うろつき、邸内の家具調度類は勿論、山の樹木をまで監視しようとした。しかし、あの時代、一人の弱い女にすぎぬふさがジエームスへの忠誠心を發揮する場などあろうはずがない。

「あきまへん。そない堅いベッド引きずりはつたら、ほら見なはれ。傷がついてしもうた。この床、あのお方の言いつけで、私等が何年も丹精こめて磨きましたんや」

ふさが並びたてる苦情を黙つて聞き流すおとなしい将校がいる間はいい。

戦争が熾烈化し、同胞の痛手が深まるに、兵たちの心もすさまむ。と、それに対抗するふさの使命感もまたヒス



テリックに高揚する。

「あ、なにするんや。ジエームスさんのシーツ引き裂いて、どうしよういうんや」

「包帯だ」

「あかん、絶対あかん！」それジエームスさんのもんや。

天皇陛下さんは、人さまのものに手をつけてもええ言わはりましたんか？」

物資不足が深刻になつてゐた時代、青黒く痩せ、目ばかりがトゲトゲしく光る将校にむしやぶりつこうとするふさを突きとばし、

「なにイ、女!! 貴様、それでも日本人か。敵国民の持物を守ろうとして、われわれに楯突く女がいると聞いたが、噂に聞く山猫とは、貴様のことか」

ジエームス山に住む山猫と呼ばれ、氣狂い女と呼ばれて山をうろついていられる間はいい。

一方、ジエームスは太平洋をへだてたカナダにあつて戦争のなりゆきを見つめていたが、決つして絶望してはいなかつた。勿論、戦況も連合軍にとって有利に傾きだしている。やがて、日本の本土に空襲開始。となると、行動派のジエームス、手をこまねいて親戦だけといつた。仲間の老いた男と肌を暖めあい、共に暮らすようになつた。

中井ふさに、暗い絶望の日がやつてきた。亀が甲羅の下にかくれるよう、黙り込み、人目を避けて暮らす日々。もはや、愛するジエームスへの誓いが守れる時代ではない。が、時代がどうあろうとも、ジエームスを裏切つたと思った日から、ふさは深い坐折感を持つた。その上のしかかる飢えと同胞の敵意にかこまれてゐる孤独。黙りこんだその日から、ふさの心は次第にすさんでいった。そして、ついに、ジエームスとの過去を疑惑するためもあつて、終戦も間近になつたころ、同じ屋敷の仲間の老いた男と肌を暖めあい、共に暮らすようになつた。

一方、ジエームスは太平洋をへだてたカナダにあつて戦争のなりゆきを見つめていたが、決つして絶望してはいなかつた。勿論、戦況も連合軍にとって有利に傾きだしている。やがて、日本の本土に空襲開始。となると、行動派のジエームス、手をこまねいて親戦だけといつた。早速、連合軍の参謀本部に日参して、

「日本の本土はどこを空襲してもかまわないが、私が不動産を残してきた塩屋海岸だけは、爆撃からはずしてほしい」

と、懇願したといふのである。

塩屋の土地には、いまは伝説的な語り草として、塩屋海岸が敵機飛来の銀座通りとなりながら、爆撃ひとつ落ちなかつたのには、この時のジエームスの陳情が大きく物を言つたといふ話が残つてゐる。が、この最後のオチは信憑性にとぼしい。というのは、ジエームスならば参謀本部に乗り込んで圧力をかけるぐらいのことはするだろうが、軍部が、一企業家の懇願を真面目にとりあげるものがどうか……。

くだろう。

# 曲線ハイウェイ

武田繁太郎  
え・横塚



あらすじ ★東名高速 浜名湖サービスエリアで  
神戸の女性宇津康子と知合い、幾度か逢瀬を重ねた。康子の魅力に  
ひかれた多木は、正体を知るため、神戸出身の友人岡本和彦と共に  
東名神を通り、神戸へ来た。康子を見出せぬ多木は、彼女の面影に  
似た辰馬英子を紹介され、六甲山をドライブに出かけた。ロマンチ  
ックな情景に誘われて英子を抱きしめた多木の胸に、始めて感じ  
るいとおしさがつのった。その夜須磨のホテルで二人は愛をたしか  
めあつた。そしてさりげなく一人は別れた。  
そしてある日突如として現われた康子からの電話で、レストラン  
で会った多木は、その足でTホテルに向い二人の愛を確かめた。  
その翌朝、康子は神戸からの電話で再び風のように去つていった。  
その置き去られた淋しさと孤独に多木は康子を慕い再びK.O.B.E.に  
来ていたが、康子を追い神戸に来た筈の多木は、友人岡本の早呑み  
み込と、神戸の晴明気のなかで辰馬英子を探している自分に氣付い  
た。そして、数軒の店をめぐり歩いた後、英子をみつけた。  
そこでの約束どおり、二人は淡路島へのドライブに出た。西海岸  
をめぐつて後、二人は州本の海岸近くのホテルに憩つた。神戸に戻  
つたのはもう夜だった。エキゾチックなムードを楽しみ食事を終  
え、薄暗い街で多木は中年の男と寄りそつて歩いている宇津康子を  
目撃した。その衝撃を負つて帰京した多木の元に、宇津康子からの  
届託のない電話が入つた。

「このまえは、あわてて帰つてしまつて、ごめんなさい。こんどは、すこしはゆっくりできそうだから、約束のドライブがたのしめるわ。どこか、遠くへいかない？」

宇津康子が、あす上京するという電話をかけてきたのは、多木が神戸から帰京して、一週間ほどたつた日の朝だった。

「そうだな。プランをたてておこう」  
多木も、以前とかわらぬ口調で、康子の電話に応答し

た。

だが、内心、彼の気持ちは微妙に屈折していた。

神戸のあの夜の街で、多木は、この目でみてしまつたのである。

偶然であった。彼は、康子を追つて神戸にきながら、康子の居所をつきとめることなど、もうあきらめていた。

このまま、あすは東京へ帰ろうと考えていた。その矢先きであった。偶然が、いきなり、彼の頬に平手打ちをあびせてきたように感じられた。

思いがけなかつた。とつさには、多木は自分の目が信じられなかつた。

だが、もうまちがいはなかつた。背の高い中年の外人の男と寄りそつて歩いている日本の若い女は、まぎれもなく宇津康子であった。通りの店のあかるい灯が、彼女の姿をはつきりと浮かびあがらせていた。

二人は、ゆつたりとした歩調で歩んでいた。なにか話しあつてゐるのか、ときどき、男のほうが背をまるめるようにして、女に頬をよせていく。むつまじそつあつた。

「さすがに港街だな。ああいうカップルが街を歩いていても、ちつとも違和感のようないものを与えない」

多木は、感情を殺した声でいつた。なにか言葉を口にしなければ、動転している胸のうちを、英子に感づかれそうな不安があつた。

「ああ、まえを歩いている、あの二人ね」英子は、路傍の人のながめる眼差しでいつた。

「あの二人、なにかしら？ 夫婦みたいだし、そうでもないみたいだし。でも、この街には、たしかに、ああいうカップルが、むかしから多いわね」

英子は、あまり興味のなさそうな口調でいつて、かえつて、多木を安堵させた。

そのまま、前方の二人と多木たちは、一定の間隔をた

もつて歩んでいったが、やがて、生田神社のわきにある一軒のクラブのまえまできたとき、前方の二人は、その

クラブのなかにはいつていつた。

「あの二人、夫婦じゃなかつたみたいね」

英子が、二人の後ろ姿を見送りながら言つた。夫婦なら、こんなカネのかかるクラブなどには遊びにこないだろ、という女らしい計算からだつたのだろう。

だが、そんなせんさくは、このときの多木には、どうでもいいことだつた。

夫婦であろうと、なかろうといづれにせよ、宇津康子は、一人の外人の男と連れそつて歩いていたのである。二人がどんな仲であるかは、後ろ姿からだけでも、はつきりと想像がついた。

むろん、康子が神戸で独り暮しをしていようとは、多木も考へてはいなかつた。未婚か既婚かはまだ不分明だが、彼女がまったく男関係なしにすごしていようはずはない。

康子には、良人がいるのかも知れない。恋人がいるかも知れない。あるいは、情人がいるかも知れない。もしも知らぬ。あるいは、情人がいるのかも知れない。

多木は、彼女のそういう男関係を責める気持ちは毛頭なかつた。もともと、責める権利など、彼にはありえなかつた。今まで、彼は彼なりに割りきつて、康子とつきあつていた。

だが、康子の相手が外人だったということに、多木の気持ちは大きくゆらいでいた。それにかなりの年配の外人である。どこの国の男か、多木の目などにはわからなかつたが、後ろ姿から想像して、もう四十の坂を越していたろう。

意外であった。思いがけなかつた。誇張ではなく、晴天の霹靂のような衝撃が、多木を襲つていた。

彼は、いまで、康子の相手の国籍など、考へてみたこともなかつた。それが当然のように、相手の男は日本人だと思つこんでいたのである。

多木は、康子に男がいても、それほどだわらない気持ちでいられたのも、相手が自分とおなじ日本の男だと

いう、無意識の前提があったからであろう。そのことに、いま、彼ははじめて気づいていた。

だが、相手は、ことあるうに、外人であった。背の高い脚の長い、毛むくじらな、おそらくは腋臭の匂いをむんむんさせている、肌の白い異人種の男であった。

多木は、どうしても虚心ではいられなかつた。これまで、康子が、自分の身元や居所をあかそうとなかった秘密のひとつが、多木にもようやく解けてきた

ようと思えた。

康子が電話をかけてきた翌日の夕刻、多木は、康子のクルマをかけて羽田まで出迎えにいった。

彼は、神戸で彼女をみかけたことは、黙つてゐるつもりであった。彼女のほうは、むろん、彼が神戸にあらわれたことには気づいていない。多木は、できるだけなに

ごともなかつたようにふるまおうと思つてゐた。そうして彼女の様子をみてみるのだ。なにかもつと、彼女の隠された部分がわかるかも知れなかつた。

「ごめんなさい。ながいことクルマのお守りをさせてしまつて」

小さなスーツケースひとつをさげた軽装で、康子は、多木のまえに姿をみせた。その駄のない笑顔に、多木も、歓迎の微笑をかえしていた。

駐車場からクルマをだし、康子を助手席に乗せて、高速道路のほうにむかいながら、

「宿はやつぱり、Tホテル？」

と多木は行先きをたずねた。

「ええ。とりあえず、今夜ひと晩、Tホテルに予約しておいたの。あなたと二人分」

「そうか。じゃ、まっすぐ赤坂へいこう

うなづくと、多木は、アクセルをふみこんだ。クルマは高速道路にはいっていた。いっ気にスピードをあげながら、多木は、あの中年の外人男の後ろ姿を脳裏に思い浮べていた。ふと、ならんで助手席にいる康子の身辺から、まだほのかに、外人特有の腋臭くさい体臭がおつてくるよう思ってきた。

「多木さん。ドライブのプラン、もうきめてくださつた？」

康子が、煙草に火をつけ、多木の口にくわえさせながらたずねた。煙草の香が、多木の不快な妄想を巧まずして追い払ってくれるようであった。

「きのう君から電話があつたあとで、あちこち考えてみたんだが、こんどは、君、なん日ぐらい、いられるの？」

「そうね。すこしはゆつくりできそうだわ」

「プランは、滞在日数でできるんだが、一週間ぐらいは

「いや、もうすこし長く、十日ぐらいは？」

「一週間？——いいわ」

「じゃ、もうすこし長く、十日ぐらいは？」



多木は、思いきってたずねてみた。

「十日ね。いいわ」

康子は、意外にあつさりとうなづいた。

多木は、内心、わからなくなつた。いったい、この女とあの外人と、どんな関係にあるのか。この女を一週間も十日も自由にさせておきあの外人は、なにものなかか。多木は、見当がつきかねた。

だが、康子が一週間でも十日でも、彼につきあうといふのなら、彼のほうも拒むいわれはなかつた。

「そうか。それぐらい余裕があるんなら、どお？ 北海道へいってみない？」

「北海道？」

さすがに、康子も驚いたようにきかえした。

「うむ。一週間以上の余裕があれば、ゆつくりクルマでいってこられる。じつはね、北海道の日本海岸に、すてきな秘境があるつていうんだ。いちどいってみたいと思つていたんだが、ちょうどいい機会だ。二人でいってみないか」

「北海道の秘境——なんとなくロマンチックな感じね」「君は北海道へいったことあるの？」

「まだないのよ。だから、余計魅力をそそられるみた。い。いってみましようか」

康子も、北海道行きの決心がついたようであつた。

「あなたの言うその秘境って、知床の辺なの」

「いや。知床はオホーツク海側だけど、ぼくのいってるのは、反対側の日本海にめんしているんだ。知床は歌で有名になつたけど、有名になつたら、もう秘境じやない。こちちは、ほとんどまだだれにも知られていない、知床以上にすばらしい秘境だつて言うんだ」

「北海道には、まだそんな場所があるのね」

「うむ。北海道でも、もうさいごに残された秘境というんだな」

多木は意氣こんでしゃべっていた。

「北海道までフェリーがでている。きのう調べたら、ちょうど、あすの午後六時で東京を出航するといふんだ。北海道の苦小牧まで、三十時間でいくそうだ。この船旅も、けつこうたのしいものらしい」

「いいじゃない。そんな長距離のフェリーに乗るのも、あたし、はじめてだわ」

康子も、ようやく目を輝かしていった。

## 〈神戸の催し物 2月ご案内〉

### 〈音楽〉

#### ★ホセ・フェリシアーノ

2月1日(木) P.M. 6:30～P.M. 8:30 神戸国際会館  
民音 会員制 A¥1800 B¥1400

#### ★よしだたくろうコンサート

2月10日(土) P.M. 6:30～P.M. 8:30 神戸国際会館  
民音 会員制 ¥800

#### ★クロード・チアリ

2月17日(土) P.M. 6:30～P.M. 9:00 神戸国際会館  
神戸文連 入場料 A¥1800 B¥1500

#### ★ビテッティ・ギター演奏会

2月28日(火) P.M. 7:00～P.M. 9:00 神戸国際会館  
民音 会員制 ¥1200

### 〈演劇〉

#### ★オンドリース

2月5日(月) P.M. 6:00 開演 神戸国際会館  
入場料 A¥1800 B¥1400 C¥900



『戦争と平和』の山本 圭

#### 劇団四季公演 作/ジャン・ジ

ロドウ 演出/浅利慶太

音楽/諸井誠、いざみ・たく

作詞/岩谷時子

出演/北大路欣也、三田和代、

松宮五郎、水島弘、田中明夫、

瀬下和久、藤野節子ほか劇団四

季演技陣

#### ★戦争と平和

2月19、20、21日 毎夕 P.M. 6:15開演

神戸国際会館 神戸労演 会費 800円

俳優座公演 トルストイ原作、ピスクートル脚色 増見利清

演出

出演/武内亭、矢野宣、福田豊土、井川比佐志、原田清人、橋本功、山本圭、山本亘、中村美代子他。

#### ★ジャックと豆の木

2月24、25、26日 24日 ①A.M. 10:30 ②P.M. 2:00

25日 ①A.M. 10:00 ②P.M. 1:00 ③P.M. 3:30

26日 ①A.M. 10:30 ②P.M. 2:00 開演 神戸国際会館

入場料 A¥700 B¥600 C¥500 日本演劇センター

### 〈舞踊〉

#### ★リトル・エンジェルス

2月13、14、15、16日 ①P.M. 1:00～P.M. 3:00 ②P.M. 6:00～P.M. 8:00 神戸国際会館

入場料 A¥3500 B¥3000 C¥2500